

梅屋学区総合防災訓練で 防災まちづくり活動チームの ブースを出します

開催日時 | 9月26日(日) 午前9時
集合場所 | 梅屋広場

梅屋防災まちづくり活動チームでは、これまでのとりくみの成果をもとに、**防災を自分事として考えるきっかけとなるプログラムを準備しています。**以下は6月のワークショップのときに参加者のみなさんから寄せられたご意見です。防災訓練のときには、ぜひみなさんからたくさんの声をお寄せください。お待ちしております。



今後、中京区で発生が
予想される地震の
最大震度は?

いつ、どこで、どんな
地震が起きるかを、
前もって知ること
はできる?



昼間に大地震が発生。
家族はバラバラ。
携帯もつながらない。
どうする?

自宅にいるときに
大地震が発生。
どこに避難しますか?



自宅にいた方がいいのか
避難した方がいいのか?

知らない場所で
被災したら
どうしよう?



備蓄品を持ち
運ぶのが重い!

防災リュックは
倉庫にあるので
取り出せないかも...

実際に地震に直面した時、
冷静な対応は難しいかも

地震のとき自動車に
いたらどうなる?



持ち物は
何が必要?

地震発生! そのときあなたは?
～6/20 ワークショップでのご意見～

木造の建物が多いので
地震火災が怖い



避難所が満員で
入れないのでは?

どこに逃げたら良い?



避難先が
思い当たらない

地震の時、自分や家族が
どこにいるのか?

高齢の母と同居。
歩行器・車椅子を
利用している

できれば家族と
家にいたい...



災害の種類によって
対応が違って来る



高齢者の避難誘導や
把握はできるか?

近所に単身高齢
の女性が多い

防災まちづくり計画を 考えるワークショップ 【前編】を開催しました

梅屋学区は、幅の狭い道や袋路があり、地震など災害時の危険性が懸念されます。2019年度から防災まちづくりに取り組み、今年度「防災まちづくり計画」の策定を目指しています。

去る6月20日(日)、同計画を考えるワークショップが開催されました。梅屋広場 1階多目的ホールに、自主防災会防災部長をはじめ、京都市まち再生・創造推進室や京都市景観・まちづくりセンターの職員、防災まちづくり活動の専門家、計23名が集まりました。

ワークショップの前半では、大規模な地震が発生した時、自分の身にどのようなことがふりかかるのかを想像し、課題となることを共有しました。後半では、それらの課題をふまえ、個人や家庭、町内、学区、行政など、それぞれの主体ができること、やるべきことを考えました。詳細は次ページ以降にまとめていますので、ぜひご覧ください。

なおワークショップの〈後編〉は10月ごろ開催予定です。できるだけ多くの方にご参加いただきたところですが、感染拡大の状況により判断します。また改めてご案内します。



ワークショップ会場のようす



第3号
2021年9月

梅屋学区
防災まちづくり
Newsletter

梅屋防災まちづくり活動チーム 発行

自分の命は自分で守る。守った命で他人を守る。

●ワークショップ開催概要●

日時 | 6月20日(日) 10時～12時
会場 | 梅屋自治会館・1階多目的ホール
対象 | 自主防災部長
主催 | 梅屋防災まちづくり活動チーム
内容 | ①これまでにに行ったアンケートやまちあるきの結果をおさらいし、地域の防災の課題を確認します。
②それらの課題をどのように改善していけばよいのか、いろいろな立場からのアイデアを集めます。

防災まちづくり計画を考えるワークショップのまとめ

ワークショップ〈前編〉では、これまでのアンケートやまちあるきの結果をもとに、地域の防災上の課題をどのように改善していけばよいのかを考えました。まとめは以下のとおりです。これをふまえ、次回のワークショップ〈後編〉では、まちづくりの目標を実現していくための具体的なとりくみを考えます。地域のみなさんご意見をどんどん反映していきたいと思っていますので、今度の総合防災訓練（4 ページを参照）などの際に、防災への思いをぜひ聞かせてください。

ワークショップのまとめをもとに、梅屋防災まちづくり活動チームにて「防災まちづくり計画」の目標（案）と、まちづくりの方針（素案）を考えました。この点についてご意見お待ちしております！

	火災の延焼を どのように抑えるか？	避難路・避難場所・避難所を どのように改善するか？	安否確認・救助活動を どのように進めるか？	まちの良さを どのように残し、活かすか？
各家庭	消火設備の普及・啓発 消火器が家にあればよいかも 消火器を回収してくれるしくみ （管理・維持しやすいシステム） 自動火災報知機、必ず設置する 消火器を地域で団体購入（補助）	各家庭の避難計画（マイタイムライン）の普及・啓発 在宅で避難することを考える 広い道だから安心ではない （塞がる可能性、地域外の人） ハザードマップの有無の確認 安全な避難ルートを考えておく	最終的な集合先を家族で決める 避難ルールを理解しているか？ （一時集合場所→梅屋広場など）	防災意識の啓発 自分たちのまちを自分で守るという意識
町内	消火設備の維持・管理 消火器を定期的に更新していくしくみ 消火器取り換えられた！ 消火器の点検 町内会長がしっかりやる（年一回） 個別更新はややこしい。まとめ買い 防火管理の対策 空き家（状態）を町内で見守る	2方向避難経路の確保 行き止まりには避難扉を設置する 避難方法の周知 避難所や避難場所を伝える必要がある 台風時の避難経路の安全性？ 避難経路の維持・管理 空き家（状態）を町内で見守る 建物・路地の日頃の点検・確認	要援護者の把握 2階以上（マンション含む）の人 高齢者等、自宅周りくらい把握 町内会長がある程度情報把握 活動体制の強化 地蔵盆とレクで顔合わせ（把握） 町内会長の引継ぎをしっかりとる 町内会の活動について、若い人に興味 を持ってもらう	日頃のつながりづくり 密な付き合い、非常時は大事 日頃の付き合いで情報を把握できる 夏祭り大変だが嬉しい。若い人が来る 関心がある人を一人でも増やす活動 コロナ後すぐ動けるように対策しておく 顔見知りになれる関係に 消防と自主防の連携がとれている まちの記憶の継承 お地藏さんができていない。心がバラバラ 建物の移り変わりの記憶 （ここに何があったか？など）
	 消火器には、使用期限があります。古くなっていますか？	 避難所  避難場所		
学区	消火設備の維持・管理 消火器訓練（粉の時は入れ替え） 消火器の販売店の紹介 補助金の活用を周知する ポンプができて安心	避難方法の周知 避難誘導ルート表示をつくる 避難生活環境の整備 緊急時のトイレが必要 保管しやすい分かりやすいものに （役員の引き継ぎ）	活動体制の強化 民生委員との情報共有が必要 若い人に町内会に入ってもらふことを考える 必要がある	日頃のつながりづくり お地藏さんができていない。心がバラバラ コミュニケーションの取りやすいイベント コロナ後すぐ動けるように対策しておく 町内のイベントに集まってもらふには、まずはコロナ対策を検討する必要がある おもちつき、運動会、夏祭り
	 ポンプは梅屋広場のグラウンドに設置されています。			
市・国	補助事業等の周知 補助金の活用を周知する	避難場所の確保 避難場所、収容場所の確保 市外へ輸送（広域避難） 避難経路の安全性向上 電柱の耐震化（線が多く景観が悪い）	正確・迅速な情報発信 情報の安全性（正確性）	 8月の梅屋まつりは今年も残念ながら中止に。来年こそは再開したいですね。

梅屋学区

防災まちづくり計画

まちづくりの目標（案）

住みよい梅屋

—まちの良さを残しながら、延焼を抑え、避難や救助がしやすい環境づくり—

まちづくりの方針（素案）

- 方針1●
延焼要因の解消
——管理不全空家ゼロへ！
- 方針2●
初期消火能力の向上
——消火器の期限切れゼロへ！
- 方針3●
2方向避難経路の確保・周知・管理
——緊急時の閉じ込めゼロへ！
- 方針4●
避難ルートの確認・周知・表示
——災害時の逃げ遅れゼロへ！
- 方針5●
避難弱者の把握・見守り体制の確立
——情報空白地域ゼロへ！
- 方針6●
区民の絆づくり